



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和6年11月号
令和6年11月1日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

音楽には 力がある

～音楽会のテーマも「成長」と「感謝」とします～

校長 小田切 倫子

いつまでも続いた暑さに、10月後半の長雨、そして11月の台風到来と、今年は季節が遅れてやってくるようですね。そのような不安定な天候の中、いつ開催できるか案じられた運動会ですが、予定どおり開催することができ、本当によかったです。子どもたちは本番へ向け一生懸命練習を重ね、当日も、一人ひとりがもっている力を最大限に発揮していたと、教頭より報告を受けました。さすがは下落合小の子どもたち！運動会の目的をしっかりと理解し、テーマのとおり大きく「成長」することができました。そして、子どもたちが頑張る姿として表した「感謝」の心が、保護者や地域の方など、見てくださった皆様に伝わっていましたら、嬉しく思います。たくさんの温かな御声援を、本当にありがとうございました。

さて、私事で恐縮ですが、本日11月1日より復帰いたしました。9月中旬より病気休暇を取得させていただき、皆様方には御迷惑や御心配をおかけいたしました申し訳ございませんでした。今後しばらくは仕事をしながらの加療が続きますが、下落合小学校がますますよい学校となりますよう邁進してまいります。引き続きの御支援と御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月は、29日（金）に児童向けとして、30日（土）に土曜授業の参観として音楽会があり、今度は音楽会を通して学校を盛り上げていきます。私は、音楽が大好きです。小学校3年生の時、友達に誘われて合唱を始めました。そこで合唱の虜になり、中学校でも迷わず合唱部に入部しました。中学校では、学校の外周を走ったり、腹筋トレーニングを行ったりするのに多くの時間を費やし、発声を支える体作りに重点を置くような相当ハードな練習の毎日でしたが、合唱の魅力に益々引き込まれていきました。高校でももちろん音楽部に入部。コンクールやコンサートに向けての合唱に加え、文化祭ではミュージカルを行うなど、扱うジャンルも広がり、本当に楽しい毎日でした。そしてよいよ進路選択の時。歌うことに長年心を奪われていた私は、親に、音楽の大学に進学することをお願いしたのです。親にしてみれば、色々考えるところもあっただろうが、私の願いを叶えてくれたことには、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。大学での4年間も、夢のような日々でした。音楽の歴史や理論など様々なことを学び、仲間や演奏家が奏でるたくさんの美しい音色に触れ、“音楽は、演奏する側も聴く側どちらも人の心を動かす力がある”と確信したのでした。私が専攻していた歌には歌詞がありますので、思いが直接伝わりやすいという性質がありますが、器楽は器楽で、それぞれの楽器のもつ特徴が深い味わいを醸し出し、心を揺らしてくれます。嬉しい時、悲しい時、ポジティブな時、ネガティブな時、その時その時で“力”を与えてくれる音楽は本当にすばらしく、人生を豊かにしてくれるものだと思っています。だからこそ（運動会にお休みしていたことも加わり）音楽会に向けた期待は、今、大きく膨らんでいます。音楽会のテーマも、運動会と同じ「成長」と「感謝」としました。もちろん、運動と同じように、音楽が好きなお子とも嫌いな子どもも、得意なお子とも苦手なお子ともいることでしょう。でも、だからこそ友達と心を通わせ、ハーモニーを重ねながら、今度は音楽をとおして大きく「成長」して欲しいと思っています。そして素敵な音楽で、聴いてくださる皆様に「感謝」の気持ちをお伝えしたいと思っています。